



Global Compact  
Network Japan

ISAP2019

テーマ別セッション

持続可能な開発目標（SDGs）とビジネス：  
ダイバーシティ経営を通じたSDGsへの貢献

ダイバーシティ経営は必然で必要

土井 章

（一社）グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

代表理事付 特命プロジェクト担当

# 企業を取り巻く社会状況

## マーケットの状況

1. 世界経済の拡大と日本経済の好調
2. 技術の進歩が加速、技術競争の激化
3. 経済のグローバル化。日本企業にとって海外市場の拡大と、それに伴うリスクの多様化と増大
4. 情報のボーダレス化

## 供給側の労働力の状況

1. 既存労働力の減少（人口減少と少子高齢化）
2. 仕事と家庭（育児、介護）の両立が必要
3. 労働法規制の厳格化（2019年4月）、残業時間の減少

企業の存続・成長面で、  
人的資本の重要性急増

## 企業評価の状況

- ✓ 財務評価のみから  
ESG評価へ
- ✓ 投資家が企業評価に  
人的資本を含み始めた

# 企業の対応

## 1. グローバルな競争に勝つために

- ✓優れた人材を確保するために、より多くの人材からの採用。潜在労働力である女性、外国人、障がい者、などの就業機会の整備
- ✓優れた様々な能力を持つ多様な人材の確保

## 2. 雇用は、企業が選ぶ時代から、企業が選ばれる時代に

- ✓社員の仕事と家庭の両立のため、育児や介護への支援策、テレワークや在宅勤務などの多様な労働形態の提供
- ✓女性と高齢者の活躍機会
- ✓労働生産性の向上
- ✓労使環境の改善
- ✓社員にとって遣り甲斐のある仕事、社会課題の解決に貢献する企業 → SDGs企業

# ダイバーシティは

## イノベーションとSDGs達成のKey

1. 複雑化する様々な社会課題（SDGs）への対応には、様々な人材の連携が必要
2. 技術競争に勝つためのイノベーションを起こすには：  
様々な分野の尖がった能力を持つ人材と、それをまとめるマネジメント人材の組み合わせが必要
  - ✓社内の人材の多様化
  - ✓グローバル・コンパクトなどの異業種のプラットフォームへの参加



# GCNJの取り組み

GCNJ『年次シンポジウム—GCNJ  
創立15周年記念企画—「SDGs  
時代の人財育成」』2月28日開催

**WEPS分科会** 2016年発足！

WEPS分科会は、2016年度に新しく発足し競争力向上につながるよう、日本企業において目指しました。2017年度は「女性活躍推進各社の自社での具体的な取り組みに役立競争力向上、ひいては、日本社会のジェンダー

現在の参加者数：56団体、74名



GCNJ 2019年度ラーニングフォーラム 多様性と人権～社会課題への取組が生む企業価値 (6月4日開催)





**Global Compact**  
Network Japan

Thank you